

令和6年度 福岡市PTA協議会
親子ふれあい事業
いっこく堂「ボイスイリュージョン」&博多仁和加
令和6年12月1日(日)

今回の部に参加させていただきましたが、会場はたくさんのお親子で賑わっていました。

福岡に住んでいながら博多仁和加をちゃんと観たことがなかったのですが、博多弁ならではの言葉遊びがとても面白く、会場からも都度笑いがおこっていました。

そして待ちに待ったいっこく堂さん。

師匠と呼ばれるおじいちゃんの人形を使って腹話術を教えてください、客席を巻き込んでの腹話術で歌う師匠の365歩のマーチにみんな手拍子しながらいっこく堂さんと師匠に釘付けでした。

そのまま腹話術を使った公演が始まりました。

ネタバレになってはいけなくて詳しくは書けませんが、知ったかぶりはいらないほうがいいという内容、おもしろおかしく演じてくださいました。

そのあとは腹話術によるモノマネ歌謡ショーが始まり、井上陽水や松山千春にルイ・アームストロングやトランペットまで全て腹話術という圧巻のステージでした。

最後は客席のお客さんを巻き込んで、いっこく堂さんおなじみ「声が遅れてきこえてくるよ」を伝授しながら会場全体が爆笑に包まれるというとても楽しい公演でした。

親子で博多仁和加にふれながらたくさん笑いで過ごす貴重な時間となりました。

ふよう

発行所
福岡市中央区舞鶴
1丁目4番13号
福岡市舞鶴庁舎6階

発行人
会長 岡村耕二
広報委員会

福岡市PTA協議会
ホームページ
http://www.fukuokacity-pta.jp

福岡市PTA 検索

印刷 株式会社西日本新聞プロダクション

令和6年度各種表彰受賞合同祝賀会

令和7年2月6日(木)西鉄グランドホテルにて、
令和6年度に各種表彰を受賞されました団体および個人のみなさまをお招きし、祝賀会を開催いたしました。

令和6年度 各種表彰受賞一覧(敬称略)

優良PTA文部科学大臣表彰

【団体】
福岡市立横手小学校PTA
福岡市立福岡中央特別支援学校PTA

【九州ブロックPTA協議会会長賞】
高良 泰弘・福岡市立内野小学校PTA

【福岡市PTA協議会会長賞】
大歯 司・福岡市立今津特別支援学校PTA

公益社団法人日本PTA全国協議会会長表彰

【団体】福岡市立三宅小学校PTA
【個人】原 裕一朗・増田 亜希子・関 富弘

九州ブロックPTA協議会会長表彰

【団体】福岡市立若久特別支援学校PTA
【個人】原 裕一朗・増田 亜希子
【感謝状】光安 巖・関 富弘

三行詩コンクールのお知らせ

令和6年5～6月に、文部科学省・公益社団法人日本PTA全国評議会主催で募集をしていました「楽しい子育て全国キャンペーン～家族で話そう！我が家のルール・家族のきずな・命の大切さ～三行詩」に、福岡市からは1,437作品もの応募が寄せられました。残念ながら今回は、入選作品は出ませんでした。笑ひあり、涙あり、また考えさせられる内容もあるなど、力作ぞろいでした。

推薦させていただきました、小学生の部5作品、中学生の部5作品、一般の部3作品につきましては、“福岡市PTA協議会推薦賞”として表彰させていただきます。

たくさんのご応募を誠にありがとうございました。

学校・PTA自慢募集中！

ご自身の学校の自慢やPR何でもOK！
ふようの記事に載せてどんどんアピール
お願いします。
たくさんのご応募お待ちしております。

第70回日本PTA九州ブロック研究大会福岡市大会
大会シンボルマーク・
ロゴマーク決定！！

大会シンボルマーク
(福岡市立友泉中学校 上野 菜さん)

ロゴマーク
(福岡市立三宅中学校 佐藤 柚奈さん)

「きらきらと生きる
自分らしさを大切にする生き方」

令和6年度 特別支援教育啓発研修会
令和6年11月13日(水) 福岡市民会館 大ホール
演題「きらきらと生きる～自分らしさを大切にする生き方～」
講師 田中 真佐美氏・田中 美由紀氏

特別支援教育啓発研修会へ参加させていただきました。ありがとうございました。

「きらきらと生きる～自分らしさを大切にする生き方～」というテーマで写真や絵を交えながらのお話で、途中から涙が溢れて止まりませんでした。会場にいた皆さんを一緒に引き込み、心が震えるお話の数々でした。

子どもの頃から手伝ってもらう事が当たり前で、自分から手伝ってと言わなくても手を貸してもらえた環境から、ある先生との出会いをきっかけに少しずつ真佐美さんの意識が変わり、どうせ出来ないと思っただけでなかった事も諦めずに何度も挑戦して一つずつ出来るようになっていけた姿に感動しつつも、それを見守っていたお母様の気持ちを想像した時に、自分だったらこんな風に子どもを育てられたらどうか？と深く考える時間にもなりました。

真佐美さんのお話の中で、
【なんで自分だけが自由に体を動かさせないのか？双子の妹が羨しかった】という言葉がありました。

真佐美さんに双子の妹さんがいらした事を知った時は神様は残酷だなと思いましたが、妹に負けたくないという勉強に励み最終的に大学合格を果たしたり、今では様々な事を相談し合える関係になったという事をお聞きして、双子に生まれた運命も真佐美さん自身の考え方や行動でプラスにしたんだなと感じました。

そして「障がい個性ではなく属性である」と言われた事とても心に残りました。今回の研修で、これまで知らなかった事を沢山知ることができ、関心が深まった事で、障がいや福祉の事などもっと学んでみたいと思うきっかけになる言葉になりました。

最後に真佐美さんの夢やこれからの展望も聞かせてもらって心から応援したいと思いつァンになりました。

貴重な時間をありがとうございました。

目次

01 | 令和6年度 福岡市PTA協議会 親子ふれあい事業
令和6年度 特別支援教育啓発研修会

02 | 令和6年度 PTA活動活性化推進事業
校長先生コラム

03 | 令和6年度 三P協主催事業 第4回「学ビバ!!FUKUOKA」2024 福岡市大会

04 | 令和6年度各種表彰受賞合同祝賀会・三行詩コンクールのお知らせ・学校・PTA自慢募集中！
第70回日本PTA九州ブロック研究大会福岡市大会大会シンボルマーク・ロゴマーク決定！！

令和6年度 三P協主催事業

第4回「学ビバ!!FUKUOKA」2024 福岡市大会

令和7年1月18日(土)にアミカスにて、木山裕策氏による講演とミニコンサートが行われました。子どもにも人気の音楽バラエティーに出演されていることもあり、親子で参加している方が多く見られました。

講演では、ご自身の経験から子育てをする上で大切にしていることをお話しされました。

木山氏は会社員として働いていた36歳の時に甲状腺がんが発覚し手術をすることになり、医師から「手術すると全く声を出すことができなくなるかもしれない」と告げられます。それまでは自分の考えで行動するよりも、他人から提案されたことをきっかけに行動することが多かったため、これからどう生きていくかをすぐに考えられなかったそうです。

手術は無事成功し、声を失うことなく元の生活に戻ることができた木山氏は、今まで自分で考えて行動を起こしてこなかったことを反省するとともに、子どもの頃から心の底に秘めてきた夢である歌手を目指そうと動き始めます。30代後半、家庭をもっている状態での挑戦に、周りからいろいろな意見を言われましたが、無事に歌手デビューを果たします。その時に改めて、自分を助け、支えてくれる人がいることのありがたみにも気づいたそうです。

この経験から木山氏は子育てをする上で、親の立場として子どもにできることは何か?と改めて考えるようになり "どんな状況になっても、自分で「考える」ことが最強の武器になる" "親はいつまでも子どもを守り続けることが難しい、困った時には周りの人にSOSを出せることが大切" と気づき、それができる環境づくりに努めたそうです。そのために木山氏が意識してきた7つのことをご紹介します。

- ①心身ともに逞しい子どもを育てる
- ②心を育て、強く生きていける人に育てる
- ③夫婦で協力してワークライフバランスを整える
- ④夫婦で話し合う時間を少しでも持ち続ける
- ⑤家族全員で話し合う時間を大切にする
- ⑥自分の気持ちを伝え、相手の気持ちも理解できるようになる
- ⑦家族の絆をきっかけに、いろんな人との絆を深める

この信念をもとに子育てをしてきた結果、木山氏の4人のお子さんは自分のしたいことをきちんと言葉にし、それに向かって頑張れるようになったそうです。

講演の後は、福岡第一高校吹奏楽部の演奏でミニコンサートが行われました。「手紙」「YELL」「home」の3曲を歌唱され、吹奏楽の迫力ある演奏と木山氏の心地よい歌声に参加者は魅了されていました。

とても勉強になる講演会と素晴らしいコンサートは拍手喝采の中、幕を閉じました。



福岡市PTA協議会 小・中学生総合保障制度のお知らせ 安心してお子さまをご養育いただくために

「小・中学生総合保障制度(こども総合保険)」

お子さまの「ケガ」「育英費用」やご家族の「個人賠償責任」などを補償します。

この制度の詳細内容はこちらからも確認いただけます。

AIG損害保険株式会社「お子さまのための総合保障制度」<https://riskfinder.jp/school/>



(学校内のケガの場合、「独立行政法人 日本スポーツ振興センター」の災害共済給付制度)の給付とは関係なく補償されます。)

※保障制度の詳細につきましては、取扱代理店にお問い合わせください。
●制度に関するお問合せ先：取扱代理店 株式会社コーリン(福岡市PTA協議会保障制度事務局) TEL:0120-228-553(通話料無料)(受付時間：平日午前9時～午後5時 土・日・祝日、年末年始を除く)
●制度引受保険会社：AIG損害保険株式会社 東京海上日動火災保険株式会社 損害保険ジャパン株式会社 三井住友海上火災保険株式会社 Chubb損害保険株式会社

[令和7年度版:90-009(2026-01)]

令和6年度 PTA活動活性化推進事業

草ヶ江小学校PTA

実施日 令和6年11月16日(土)

事業名 草ヶ江小学校友愛セール

事業内容 学校の体育館を使用して、友愛セールを実施しました。ゲームコーナーやバザーなど、たくさんの保護者や教員のみなさまの協力を得て準備・実施することができました。当日は、800名をこえる児童が参加し、ゲームコーナーは大盛況でした。多くの保護者を配置し、またベルトバーテーションを効果的に利用するなど、安全面にはずいぶん神経を使いましたが、大きなけがもなく、子どもたちとともに楽しいひと時を過ごすことができました。



次郎丸中学校PTA

実施日 令和6年11月9日(土)

事業名 子どもたちの安全を守ろう!! スケアード・ストレイト体験

事業内容 自転車での移動の機会が多い子どもたちに、いつ遭遇してもおかしくない様々な事故の場面について、スタントマンの実演を交えた指導並びに体験学習を行いました。

子どもたちは、目の前で「時速40kmの自動車と衝突した自転車の様子」や「内輪差による巻き込み事故の様子」などを目の当たりにすることで、自分が被害者にも加害者にもなりうることや事故の怖さをより実感を伴って理解することができたようです。



原中央中学校PTA

実施日 令和6年11月8日(金)

事業名 文化交流基金事業

事業内容 文化交流を通して、子どもたちの豊かな心を育むとともに、創造性や多様性を高める効果を期待して、「アドヴァンスド・ミュージック・ギャラリー」の皆さんを招いて『絵や映像が見えるような音楽』を信条としたビッグバンドの演奏を鑑賞しました。

生の演奏に触れる機会が少ない生徒や音楽の好み異なる生徒にとっても、新しい音の世界に触れる良い機会となりました。



南福岡特別支援学校PTA

実施日 令和6年11月16日(土)

事業名 秋祭りinみかさ

事業内容 学校に古くから関りが深い、町内会・保育所・福祉事業所とともに実施しました。全校児童生徒の他、福祉作業所、九州大学の現役大学生や、防災士で構成するボランティア団体にもサポートスタッフとして参加していただきました。保育園児の演舞や福祉作業所の出店の他、ゲームコーナーでは災害時に役立つグッズを用いた魚釣りゲームや避難所等で使用するピクトグラムクイズを実施し、ゲームを楽しみながら防災を身近に感じる事の出来る良い機会となりました。

また、今回「みかさの会」ロゴ入りグッズ(サコッシュ)を作成・配布しましたが、学校や地域の中で「みかさの会」のロゴを見かける機会が増え、普段の生活の中で防災に対する意識を高めるきっかけになればと思います。



「また会いたくなる いいヤツ」 福岡市立吉塚中学校 校長 福原 啓二

超高齢化社会によって生じる働き手不足などの問題「2025年問題」。その解決にスキマバイトアプリや後継者を募集している企業と希望している人をつなぐマッチングプラットフォームがテレビで紹介されていた。事業者が抱える「課題」「困り感」と「自分のペースで」「やってみたい」という個人の意欲とを「つなげる」アイデアが素晴らしいと感じた。このようないいつながりが生まれるときは、双方向の「好感触」から始まることが多そうだ。

2、3月に入ると、学校では、3年生の卒業、職員の離任など少し寂しい気持ちにもなる。以前、勤務していた学校の校長先生が「出会いには誰でも大事にするけど、ボク(この校長先生らしい親しみをもてる自称)は、別れを大切にしたいと思っている」と話してくれたことを自分自身も大切にしている。

生徒に「先生、卒業アルバムにメッセージを書いてください」と言われた時に、よく書く一つの言葉「いいヤツになれ」。なんと薄っぺらい感じがだが、「いい人」ではなく周りから親しみをもたれる「いいヤツ」。周りから可愛がってもらえるような、また、人を応援できるような人になって欲しいと思っている。節目を迎える時に、周囲に対する感謝をもち、また会いたくなる、またいっしょに働きたい「いいヤツ」でともにありたい。

